

一般質問通告議員

H25年第4回（9月）定例会

- 1 山 川 香 一
- 2 樗 沢 諭
- 3 堀 川 義 徳
- 4 横 尾 祐 子
- 5 植 木 茂
- 6 八 木 清 美
- 7 高 田 保 則
- 8 渡 辺 幹 衛

一般質問通告要旨

H25年第4回（9月）定例会

1 山川香一

1 小・中学校における安全対策について

- 1) 東京都調布市で食物アレルギーがある小学5年の女兒が、おかわりの際に通常の給食を食べ、死亡するという痛ましい事故が起きた。当市の保護者からも不安の声が出ている。
緊急時にアレルギー症状を緩和する自己注射薬「エピペン」の使用を含む、当市の取り組みと対応はどのようなか。
- 2) 当市の小・中学校におけるプールの使用管理、監視員等、またプールの排水口を含む安全管理方法の現状と対応はどのようなか。
- 3) 部活動を含め、体育競技での事故防止の現状と対策はどのようなか。
- 4) 京都府福知山市でガソリンによる爆発事故が起きた。学校における、灯油やガスの取り扱いの教育はどのようなか。
また、理科の実験でのアルコール使用に対する防護眼鏡使用や安全対策はどのようなか。
- 5) 「自分の命は自分で守る」という東日本大震災での教訓から、父兄の中では、学校でも着衣水泳を学習する機会が必要との声がある。生命が第一との考えから、父兄や地域の方々の力を借りてでも積極的に実施すべきと考えるがどうか。

2 当市の観光振興における戦略的取り組みについて

新幹線開業に向けて、全国の観光地との熾烈な競争の中、観光振興の戦略的な取り組みが必要と考える。

- 1) 笹ヶ峰地域、妙高山、高谷池、火打山、苗名滝、池の平いもり池、赤倉、岡倉天心六角堂、燕、関山神社、加茂神社、鮫ヶ尾城跡、斑尾高原等、個々の素材がよく、魅力あるところが多いが、観光ルートづくりができていないと考える。観光専門家を招き、観光ルートを開発すべきと考えるがどうか。

- 2) 広域観光の連携を推進している中、市外の有名観光地である善光寺、戸隠、野尻湖、春日山城跡、高田城跡（高田公園）等を含めた、他市との観光ルートづくりに観光専門家を活用すべきと考えるがどうか。
- 3) 20代、30代の若い人たちの目線での観光地づくりが重要と考える。若い世代向けに観光情報を発信するスマートフォンアプリ「妙高ナビ」において、旅館やペンションなどの宿泊に関する情報を発信できるようにしたらどうか。
- 4) 売上額日本一にもなった道の駅あるいは、観光面でも大変重要な役割を果たしていると考えるが、今後どのように活用し観光客の誘客促進につなげるのか。
- 5) 海外からの観光客の誘客促進に積極的に取り組むべきと考えるが、現状はどのようか。

3 高齢者への思いやり補助の充実を

当市では高齢者の方に対する思いやり補助として、バス利用での割引制度があるが、他市では65歳以上の高齢者の方々に対し、市関連施設の利用料金を20%割引、半額、または無料にしているところがある。市民からは、高齢者の方の外出や健康増進のため、市関連施設の利用料金を思いやり補助を導入すべきとの声が多くある。考えはどのようか。

2 樗 沢 論

1 経済対策について

- 1) 新潟県統計年鑑によると、市町村民経済計算による当市の市町村民所得（分配）は平成16年度1117億円から22年度854億円、1人当たり市町村民所得では平成16年度290万円から22年度241万円と減少傾向である。
経済再生のチャンスするときであるので、総合的な経済成長施策が必要と考えるがどのようか。
- 2) 金融緩和で株高、円高是正が進み、国の緊急経済対策で経済指標などの数値が景気回復を示す中、第四銀行の県内企業動向調査では上期は業況感が改善、上越信用金庫の中小企業景気動向調査では上越地域業況は4月から6月は大幅改善、7月から9月は改善の見通しとの結果である。
市内地域業況はどのようか。

- 3) 国の「地域経済活性化・雇用創出臨時交付金」等を活用した、当市の8億4548万円の平成24年度経済対策補正予算の執行状況はどのようなか。また、地域経済に対する効果はどのようなか。

2 雇用対策について

- 1) ハローワーク上越によると、上越・妙高市内の高校を来春卒業する予定の生徒は2083人と昨年に比べ72人少ないが、就職希望者は約610人で昨年に比べ4割増加している。一方、求人数は7月末時点で390人分であり、220人分が不足している厳しい状況とのことである。

内定が得られない生徒が多数出て就職活動の混乱が危惧され、企業等の求人増加対策が急務と考えるが、対応策はどのようなか。また、市職員の高校卒業者の採用予定数はどのようなか。

- 2) 総務省によると、15歳から34歳の若者で仕事に就かず通学もしていないニートから「若者無業者」は、平成24年63万人であり、11年連続で60万人以上である。深刻な課題であり、厚生労働省は平成18年度から全国に「地域若者サポートステーション」を設置して取り組みを行い、昨年は1万4000人の進路が決定した。

上越地域でも、「上越地域若者サポートステーション」が、ジョブカフェ、教育機関、行政と連携を強化して取り組むべきと考えるが、当市における「若者無業者」の実態と対応策はどのようなか。

- 3) 「短時間正社員制度」を厚生労働省は、①一時的な短時間正社員、②恒常的な短時間正社員、③パートなどからの短時間正社員の3タイプに分類して導入促進のために企業に補助金制度を設けている。制度のメリットとしては、人材確保、生産向上、高齢者の能力や技術の活用、非正規雇用の戦力化が報告されている。

安定雇用のためにも「短時間正社員制度」の普及推進が必要と考えるがどうか。

3 コミュニティデザインで地域の活性化を

- 1) 「コミュニティデザイン」は、公共施設、公園、市街地、駅舎等のハードのデザインを側面から支え、人々が愛着を持って使い続け、良質な人のつながりをつくるものである。アメリカが発祥で、日本では1960年代から都市の公園、集会場などで採用され、地域の人々が地域の課題を自分たちで解決するために人がつながる仕組みを設計してきた。

当市においても妙高コミュニティデザインの推進が必要と考えるがどうか。

- 2) 妙高新時代の今、地域の活性化、魅力拡大、もっと住みよいまち、住んで楽しい活力あるまちにするために、妙高にかかわる観光、経済、文化、スポーツ等の全てのジャンルを対象とした提案やアイデアを募集する「妙高コミュニティデザイン大賞」を企画し、公開プレゼンテーションを開催してはどうか。

1 「上越妙高駅」を活用した当市の取り組みについて

6月7日に待望の北陸新幹線の駅名が「上越妙高駅」に決定した。この駅と駅名を、観光を中心とする当市の政策に最大限活用しなければならないと考えるが、今後「上越妙高駅」が当市にもたらす可能性と具体的な政策はどのようなか。

2 当市におけるいじめ対策について

いじめは、もはや教育現場だけではなく社会問題になっており、当市の小・中学校におけるいじめ対策も急務と考える。

- 1) 当市におけるいじめの現状とその対応はどのようなか。
- 2) 本年6月にいじめ防止対策推進法が成立し、各自治体に対して、地域いじめ防止基本方針の策定に努めることを求めているが、当市においてはどのように対応するのか。

1 公共施設の予約システムの導入について

念願だった総合体育館が、「する・見る・支える」機能を持つ施設として7月にオープンした。総合体育館ではスポーツだけでなく、トレーニングルームや健康・体力測定室、研修室、会議室などでグループ活動やサークル活動もでき、これからは大いに市民の方々に利用してもらいたいものである。

しかし、施設の申し込みをするにあたり、予約状況の問い合わせのために何度も足を運んだり、電話をしたりする必要があるなど、利用する市民にとっては非常に不便だと聞いている。

上越市はインターネットによる公共施設予約システムを導入しており、施設名だけでなく、スポーツや会議などの利用目的により施設の空き状況を確認できるほか、利用者登録をすることにより、空き施設の予約が可能となっている。当市も公共施設の予約において、同様のシステムを導入してはどうか。

2 当市における自転車マナー啓発の取り組みについて

自転車は環境に優しく健康増進にも資する乗り物として改めて注目され、通勤目的での利用の増加が見受けられるなど、年々利用者は増加しているが、利用者の増加に伴って、自転車が関係する命にかかわるような痛ましい事故も多くなっている。

当市においても毎年、小・中学校や地域などへ出向いて講習会を行っているが、昨今聞くところによると、交差点での斜め走行や右側通行、夜間の無灯火走行など、歩行者や車を運転する人などをはらはらさせる自転車運転が多いと聞いている。

手軽な乗り物であっても、自転車も軽車両であり、車道走行が原則である。交通ルールやマナーを守り、相手の立場に立った思いやりのある運転を心がけてほしいものである。

市民がつらくて悲しい被害者や加害者にならないよう、市として自転車マナーの啓発に取り組むべきと考えるがどうか。

1 全国学力テスト成績公表について

本県の市町村教育委員会は、学力テストの学校別成績を非公開にしているが、文部科学省が公表方法の再考を始めている。

当市については、市内の学校別成績を公表すべきと考えるがどうか。

2 Windows XP のサポート終了対策について

2014年4月にパソコン用のOSである「Windows XP」のサポートが終了する。サポート終了後も使用を続けると、セキュリティー上で多大なリスクが発生することになる。

当市における、サポート終了後の情報管理やセキュリティー確保についての対策はどのようなか。

1 文化財を生かした誘客対策について

市内には国、県、市の指定文化財とされている、有形・無形の文化財が81件ある。これらの文化財を活用した誘客は今一歩盛り上がりが見えない。それぞれの文化財を点でなく線で結び、統一された認識のもとで、市として誘客に向けて努力すべきと考える。

- 1) 斐太歴史の里の発掘遺跡を展示公開している斐太歴史民俗資料館は機能しているか。また、県民休養地総合案内所との連携は取れているか。
- 2) 関山神社、旧関山宝蔵院庭園を後世にしっかり受け継いでいくため、市としての今後の課題は何か。
- 3) 妙高高原地域では、天心顕彰会が六角堂や赤倉山荘を中心としたメモリアルパークの整備に乗り出した。市としての対応はどのようなか。
また、市と地域住民が一体となった文化財指定の取り組みをどのように考えているか。
- 4) 文化財を含めた市内観光地の案内看板の設置が不十分と考える。市としてどのように考えているか。
- 5) それぞれの地域ボランティアガイドの連携を図るため、セミナーを開催し、若者を交えての勉強会で知識や認識を共有する必要があると考えるがどうか。
- 6) これからの展望として、北陸新幹線開業に合わせた広域連携による、文化財を活用した歴史めぐりを取り入れ、さらにそのためのツールとして、駅からの二次交通を仕立て、案内ガイド付きの観光システムづくりが必要と考えるがどうか。

1 歴史が育む愛郷心と学校教育について

- 1) 市長は生命地域の創造に向けた青少年の健全な育成は、愛郷心を基軸としていきたいとの考えだが、改めて市長の考える愛郷心とは何か。
- 2) 愛郷心とは強い郷土意識だと考える。強い郷土意識はなぜ生まれるかという、他郷より優越感を感じるものがあるからで、劣等感では異郷への憧憬となり流出してしまう場合が多い。当市に終の棲家（ついのすみか）を決めた岡倉天心は、国内や世界にも誇れる強い郷土意識の一つになり得るもので、これが愛郷心と考える。青少年の健全な育成の基軸が愛郷心ならば、岡倉天心を学校教育に取り上げるべきではないか。また、副読本を作成する考えはないか。
- 3) 毎年、6月22日の太子講祭、中学校での講和、9月2日の天心忌に、法隆寺の館長か執事長が来訪し行事を行っていただいているが、当市の法隆寺に対する対応は現状でよいか、市長の考えはどのようなか。
- 4) 岡倉天心の美術院創設、東京美術学校の設立貢献、このような関係から当市の「妙高夏の芸術学校」や「妙高四季彩芸術展」には東京芸術大学の宮田学長、佐藤教授を初めとして多くの関係者の協力をいただいている。また、先日の「鼎談 天心の想い」の開催は、東京芸術大学の協力がなくては絶対無理であった。このように岡倉天心のみならず、当市の芸術、文化に大きく貢献いただいている東京芸術大学であるが、さらなる協力をお願いする余地はないか、市長の考えはどのようなか。

1 地域経済の振興について

政府は「消費税増税ありき」の立場から、様々な経済指標を都合よく解釈しようとしているが、市民の暮らしや地域経済の厳しさは続いている。

- 1) 住宅リフォーム助成制度の評価と、「仕事おこし」と「住環境整備」を兼ねるこの事業を恒久化する考えはないか。
- 2) 建設業の振興と「地域のこし」については、「地域を支える公共事業と認識している」との答弁があった。しかし振興策が見えない。後継者問題、除排雪機械操作員、住宅屋根雪処理作業員の確保は、地域の安心・安全確保にとって欠くことのできない要素だ。どのような施策を考えているか。

2 TPP交渉の現状への認識について

「国益を守る」との自民党の公約だったが、今年末までの合意を目指し、国民世論も無視し、なりふり構わぬ暴走が続いている。国民には秘密としながら、グローバル企業の意向を最大限尊重する姿勢は、政権与党内部からも批判の声が上がっている。

市長は「市場原理・競争原理を無制限に広げることが、食料品、工業製品等だけでなく、労働、教育、医療等人間を支えるサービスまでも商品と同列に扱うことはいかかなものかと思う。」と答弁した。改めて現時点における市長の認識を尋ねたい。

3 妙高市観光協会との連携について

- 1) 観光協会への助成は、どのような役割を期待して行っているのか。
- 2) 市と観光協会との観光施策に対する違いはないか。

4 非正規職員の待遇改善について

「民間でやれることは民間へ」「民間活力を導入する」などが委託を進める際の表看板だ。しかし現状は、「仕事の値打ち」を無視し、徹底した財政効率の追求と、公務公共業務の市場への開放にほかならない。

- 1) 妙高市の保育業務における臨時職員の定義と配置の基本的考え方はどのようなか。
(「常勤」「非常勤」の区分、定数、勤務時間、職務内容、任期)
- 2) 当面の待遇改善策は考えているか。
- 3) 臨時職員の役割を考慮し、定数条例の改正を求めるが見解はどのようなか。

5 給食調理業務の民営化について

学校や保育園等における給食業務は重要だ。食育、アレルギー対応、災害等の緊急時対応等でも、公務の役割は重要だ。

- 1) なぜ今民間委託が必要なのか。
- 2) 食育等の重要性はどのように確保されるか。